

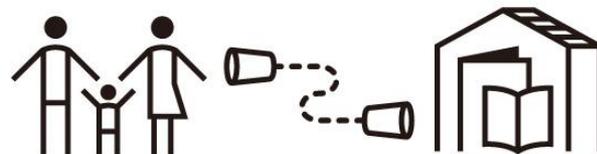


としょかん未来

ミーティング|瀬戸内市

としょかん未来ミーティング|瀬戸内市

第4回 もう少し掘り下げよう編



新図書館「基本計画」のあらまし

メインコンセプト

「持ち寄り・見つけ・分け合う広場」

～瀬戸内市の図書館が目指すもの～

「基本計画」策定のプロセス

- ☆新図書館整備検討プロジェクトチームによる検討
平成23年8月11日から3月2日まで、7回のプロジェクトチームによる会議を実施
- ☆市民参加の「としょかん未来ミーティング」を3回開催
 - 11/27 第1回「どうなってるの編」
 - 2/18 第2回「こんなにしたいな編」
 - 2/25 特別編「片山善博講演会 & シンポジウム」

1. いま、なぜ図書館が必要なのか

1) 市民の自由と自立を支える図書館の役割

- ・市民が主体性を高められる場づくり
- ・市民が自らの知的欲求に気づける場づくり
- ・すべての市民の学びを支える場づくり

1. いま、なぜ図書館が必要なのか

2) まちづくりにおける図書館の役割

- ・市民がつながり地域を活気づけるための場づくり
- ・まちの魅力を発見し郷土文化の継承と発信のための場づくり

1. いま、なぜ図書館が必要なのか

3) 市立図書館の課題

- 利用しやすい施設整備の必要性
- 資料の充実の必要性
- 職員の充実の必要性
- 時代の要請に対応した機能充実の必要性
- 図書館サービス網の構築の必要性
 - 長船、牛窓の図書館整備とネットワーク

2. 新図書館の建設の基本方針

メインコンセプト 「持ち寄り・見つけ・分け合う広場」

7つの指針

- ・市民が夢を語り、可能性を拓ける広場
- ・コミュニティづくりに役立つ広場
- ・子どもの成長を支え、子育てを応援する広場
- ・高齢者の輝きを大事にする広場
- ・文化・芸術との出会いを生む広場
- ・すべての人の居場所としての広場
- ・瀬戸内市の魅力を発見し、発信する広場

2. 新図書館の建設の基本方針

～新図書館を利用する市民の姿～

- ・子どもと子育て世代
- ・小・中学生
- ・高校生・大学生等
- ・高齢者世代
- ・「家庭」を支える
- ・「働く」を支える
- ・個性に合わせた情報提供
- ・相談・課題解決を求める人

3. 新図書館の建設計画

(1) 新図書館の位置と規模

- **新図書館の規模(修正案)**

延べ床面積は約2,300㎡、蔵書冊数は約20万冊、開架冊数は約12万冊

※郷土資料館機能を含む

- **建設場所の候補地**

現瀬戸内市立郷土資料館及び市役所南側民有地

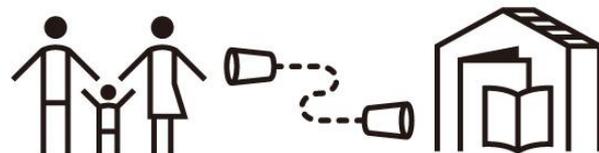


としょかん未来

ミーティング|瀬戸内市

としょかん未来ミーティング|瀬戸内市

- 11/27 第1回「どうなってるの編」
- 2/18 第2回「こんなにしたいな編」
- 2/25 特別編「片山善博講演会 & シンポジウム」





11/27 第1回「どうなってるの編」

2011/11/27



2011/11/27



2011/11/27

i 受付

Information

お知らせ

松平定信 四編展



2011/11/27



2011/11/27



2011/11/27



2011/11/27

気持ち

(B) **社会的なバリア**
(貧困・障害・地域性)も
解決する。

(E) 多目的に使用できる
機会を提供してくれる。

(E) **電子書籍の導入!**
虫のけむくも読めるXリナ!
→市の補助に協定!

資料で

(F) 色々な視点や
考え方を見つめられる

(E) 和~1Aの2つ
集めて3施設
(12.7-7の施設
並行して2-1-
中心にある空間)

(E) 様々な情報を多様な
手段で手元へくれる。
情報端末の充実
インターネット接続

所を

来る

(A) カフェのように
お茶をのみながら
本が読める!!

(E) 日本で"初めて"
日本で"唯一"
『本の無い図書館』

(E) 今後30年間の使用にたえりため
図書、映像、写真の検索システムで
ユビキタス化を図り、書籍1冊ごと
写真1枚ごとに**確実に検索**できるようにして欲しい。

2011/11/27

ワークショップでのご意見

- ・子どもがウキウキワクワクする空間と時間を与えてくれる
- ・まとまった資料で問題を解決できる
- ・社会的なバリア(貧困、障害、地域性)を解決する
- ・生きていく力を与えてくれる(勇気、知恵など)
- ・暮らしの一部として図書館に気軽に行ける
- ・様々な情報を多様な手段で与えてくれる

2/18 第2回「こんなにしたいな編」

「図書館の通信簿」

11月27日(土)

第1回「とよかん未来ミーティング」

33名の方にご参加頂きました。









大家族のいえ

バリブリー

家族で旧あそび

ウッドデッキで本を読む

ランキングコーナー

屋
外
テ
ラ
ス

四季を感じる
風が通る

木

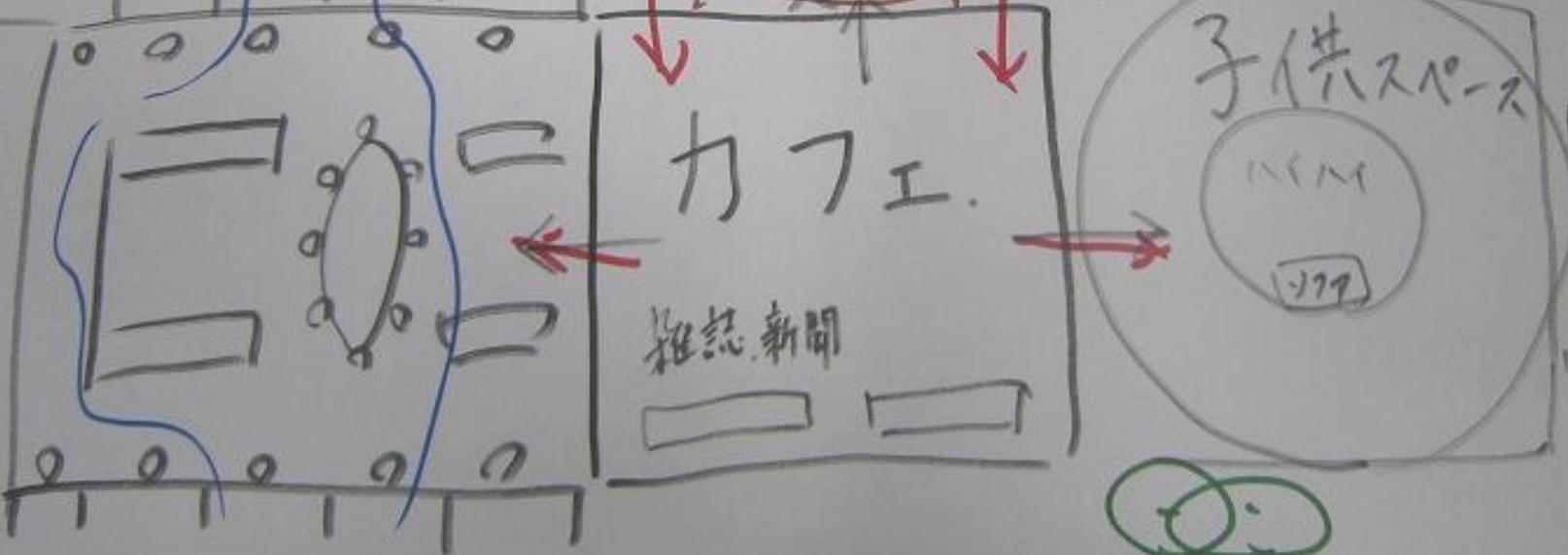
書
庫

カ
フ
エ

子供スペース

雑誌新聞

回転テレビ
いすいす
本棚



瀬戸内』を実現するために
が出来ること



2/25 特別編「片山善博講演会 & シンポジウム」

りと図書館
書館、公共図書館の役割を考
慶應義塾大学教授 片山善博

山本公子氏

上杉佑子氏

湯浅薫男氏

三輪佳奈恵氏

片山善博氏

桑原真琴氏



新図書館の建築規模の修正案

図書館機能を 2,000m²

郷土資料館機能を 300m²

合計2,300m²

蔵書冊数は20万冊と変更なし

開架冊数を13万冊から12万冊に変更

計画修正の理由及び、積算の根拠

計画修正の考え方

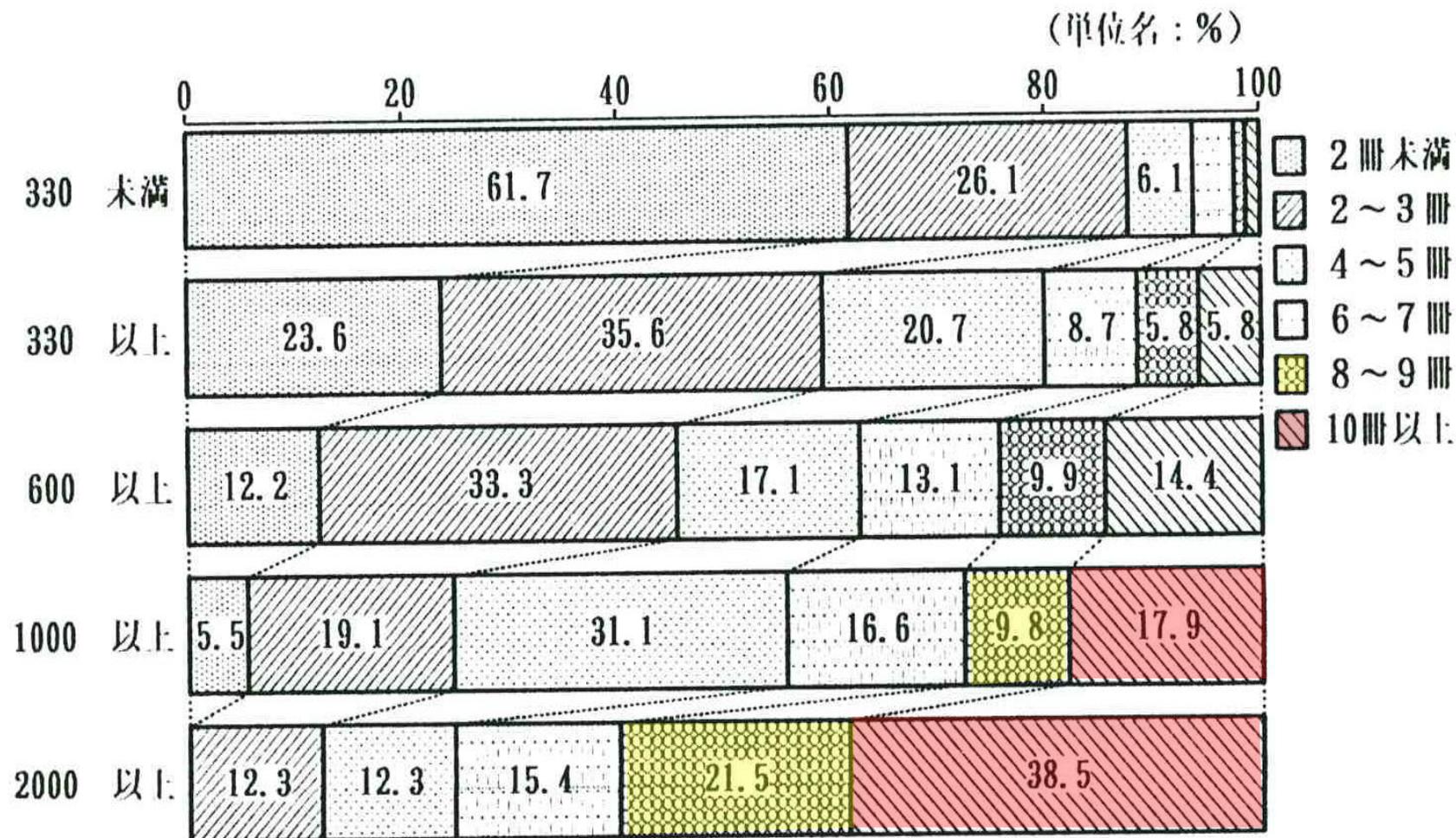
延床面積と利用度の関係

年間の住民1人当りの貸出冊数の調査によると、**2,000㎡を超える規模では、8冊から10冊以上の利用度が、60%に上るのに対して、2,000㎡以下1,000㎡以上となると、27.7%と大幅に減少します。**

2,000㎡以上の延床面積を有することで、収蔵冊数や閲覧スペースなどの滞在空間が増し、利用が増加することが実証データで読み取る事ができます。

延べ床面積と1人当り貸出数の相関

(「よりよい図書館づくりのために～グラフで見る日本の町村図書館2～」2001年)



各部門別の機能及び面積

	区 分	面 積
a	エントランス	約150m ² (-50)
b	一般開架スペース	約850m ² (-150)
c	児童開架スペース	約300m ² (-50)
d	学びのスペース	約150m ² (-50)
e	保存書庫	約150m ² (-50)
f	集いのスペース	約150m ² (-50)
g	郷土資料展示スペース	約300m ²
h	移動図書館スペース	約50m ²
i	共有スペース	約150m ² (-50)
j	管理・運営スペース	約50m ² (-50)
	計	約2,300m ² (-500)

各部門別の機能及び面積

	区 分	面 積
a	エントランス	約150m ² (-50)
b	一般開架スペース	約850m ² (-150)
c	児童開架スペース	約300m ² (-50)
d	学びのスペース	約150m ² (-50)
e	保存書庫	約150m ² (-50)
f	集いのスペース	約150m ² (-50)
g	郷土資料展示スペース	約300m ²
h	移動図書館スペース	約50m ²
i	共用スペース(トイレ・階段)	約150m ² (-50)
j	管理・運営スペース	約50m ² (-50)
	計	約2,300m ² (-500)

1. 「基本計画」修正案の追加説明

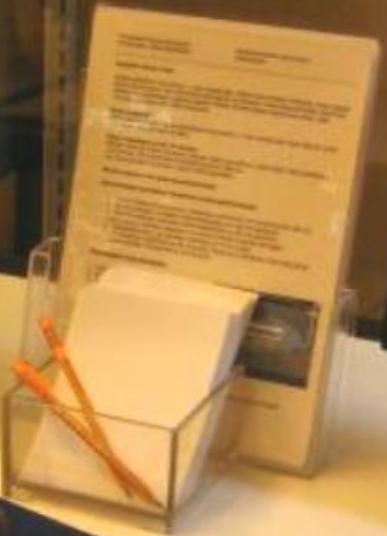
a) エントランス 約150m²

新図書館の玄関として、市民の交流の場として親しんでもらえる空間となるよう配慮する。館内の全体像が把握できる案内表示や総合案内デスクを設けるとともに、本と出合えるカフェを整備する。

- ・総合案内デスク(利用者兼用WebPC)
- ・情報掲示板(運営用・市民用)
- ・ブックカフェ(喫茶 & 書籍注文サービス)









1. 「基本計画」修正案の追加説明

b) 一般開架スペース 約850m²

- ・開架スペース(一般、ヤングアダルト、郷土・地域資料、行政・議会資料等、約9万冊を配架)
- ・閲覧スペース(椅子と机を設置)
- ・新聞・雑誌コーナー(新聞:約15紙、雑誌:約300誌)
- ・郷土・地域行政資料コーナー
- ・レファレンスコーナー(調査・相談支援)
- ・AVコーナー、対面朗読室
- ・サービスカウンター(貸出・返却・問い合わせ)
- ・静寂室(一部閲覧ゾーンを防音ガラスで遮へい)









52





1. 「基本計画」修正案の追加説明

c) 児童開架スペース 約300m²

- 児童開架スペース
- 閲覧スペース
- おはなしの部屋
- 家族の間(子育て関連資料、畳の間、授乳室)





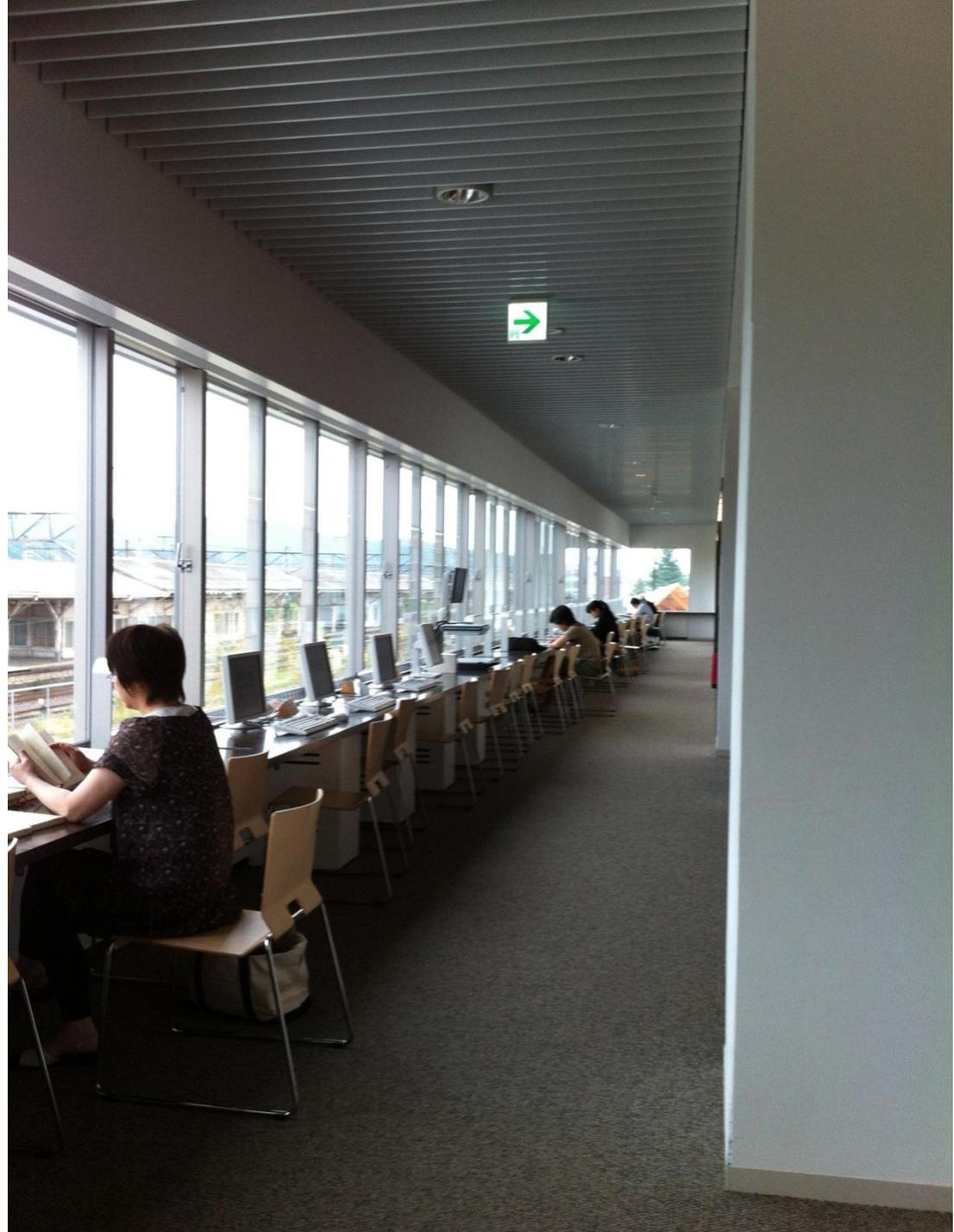
1. 「基本計画」修正案の追加説明

d) 学びのスペース 約150m²

小・中学生の宿題支援や、高校生・大学生の自学支援と交流促進のためのスペースを設ける。「高校・大学案内」「仕事」「就職活動」「人生相談」「サブカルチャー」といったキーワードでの図書、雑誌などの資料も配置する。また、グループで利用できる学習室や様々な支援を必要とする人たちのための学習室も設ける。

- ・学習スペース
- ・グループ学習室
- ・ミニカフェ(テーブル&ポット)







We're Teens Corner!

Notice board containing various posters and notices, including a "WARNING!" sign and a "T-NOTE" sign.





1. 「基本計画」修正案の追加説明

f) 集いのスペース 約150m²

講演会や映画会、人形劇の上演にも対応し、展示ギャラリーとしても機能する多目的ホールを設けるとともに、読書会や共同学習、各種の相談業務など、小グループで利用できる集会スペースも設ける。

- ・多目的ホール
- ・小規模集会スペース













桂米平



↔
R

5
EX
-
PUBBLICITÀ

4
SULLA
-
PUBBLICITÀ









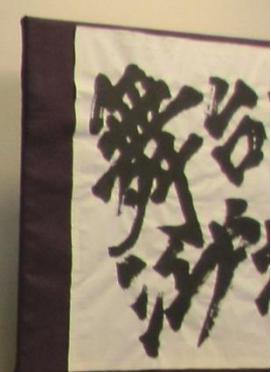
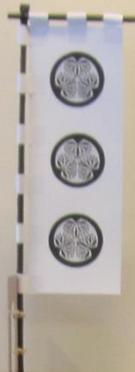


1. 「基本計画」修正案の追加説明

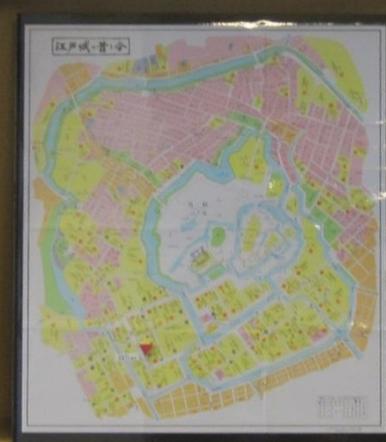
g) 郷土資料展示スペース 約300m²

郷土資料を展示できるスペースを設ける。このスペースの隣接に「郷土・地域行政資料コーナー」を設置し、実物資料と文献で郷土学習を支える空間とする。

- ・郷土資料展示スペース
- ・喜之助人形企画展示



江戸城の歴史
江戸城の概要
江戸城の位置
江戸城の規模
江戸城の築城
江戸城の廃城



戦前にあるミシンの破壊と、復興、復興の
普及により、ミシンの需要が急増。
生産475万台を記録。
ミシン生産台数も減少を続ける。

ふたからや!



戦後のミシン需要

戦後、女たちがのどから手が出るほど欲しかったのはミシンでした。着る物がない上に、既製服もなく、自分の家で縫うか、縫ってもらうしかありません。内職や家族の服作りに、ミシンこそ必需品。1951年からの5年間、お年玉はがきの特賞はミシンでした。



展示品：足踏みミシン

アメリカ シンガー社製
シンガー・モデル 217型
1929 (大正18) 年製

国立民族学博物館 文化科学部門所蔵

足踏みミシンは、電気ではなく、踏み板の上下運動を回転運動に変換させて駆動する。



足踏みミシンの構造と、復興、復興の普及により、ミシンの需要が急増。生産475万台を記録。ミシン生産台数も減少を続ける。



代田区立 日比谷図書文化館
2011年11月4日(金)OPEN!



読む・調べる・学ぶ・楽しむ・交流する・遊ぶする
都会のオアシスに“知の拠点”が誕生!

日比谷図書文化館
Hibiya Library & Museum

火器
EXTINGUISHER



Exhibition items on the table include a wooden box, several informational cards in green, orange, and yellow, and a green and white patterned cloth. A small white card with text is also visible on the table.



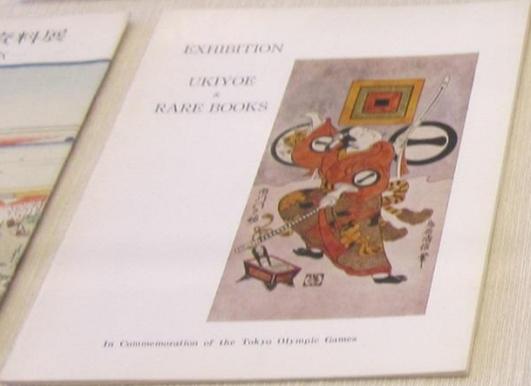
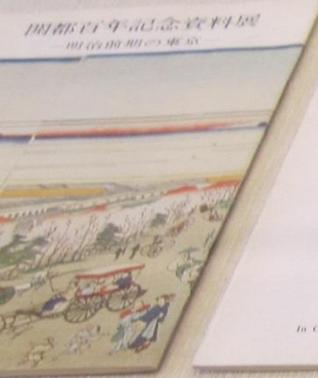
...



ワンタメント



新聞雑誌用の蔵書印とシールプレス



In Commemoration of the Tokyo Olympic Games

東京都立日比谷図書館 蔵書印



展示パンフレット
(※記念した展示と東京オリンピックを記念した展示)



2. 整備事業のスケジュール

平成24年度 事業計画

- ・新図書館整備実施計画策定
- ・郷土資料館解体設計

平成25年度 事業計画

- ・郷土資料館解体工事
- ・新図書館工事地の埋蔵文化財調査委託
- ・新図書館設計委託

2. 整備事業のスケジュール

平成26年度 事業計画

- ・新図書館建設工事（平成27年3月竣工予定）
- ・新図書館用図書購入
- ・新図書館開館準備

平成27年7月頃

新図書館グランドオープン



ご清聴ありがとうございました。

